



2019年7月号

エピペン処方 かのう内科クリニックで

アナフィラキシーショックは命の危険があります

アナフィラキシーショックとは

アナフィラキシーは、発症後、極めて短い時間のうちに全身性にアレルギー症状が出る反応です。

主にアレルギーを食べる(飲む)、吸い込むことによって症状が現れます。

全身性に複数の臓器(皮膚、粘膜、呼吸器、消化器、循環器など)にあらわれるこのアナフィラキシーによって、**血圧の低下や意識障害**などを引き起こし、場合によっては生命を脅かす危険な状態になることもあります。この生命に危険な状態をアナフィラキシーショックといいます。

アナフィラキシーが原因で心停止に至った例の、心停止までの時間は、**薬物で5分、蜂毒が15分、食物では30分**といわれます。

エピペンの使用法

エピペンのまん中を片手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップを外します。



エピペンを太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。太ももに押しつけたまま数秒間待ちます。



お気軽に相談してください



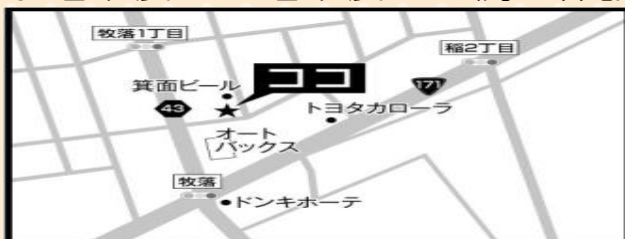
かのう内科クリニック
箕面市牧落3-14-19

072-737-6555

AM9時から12時

PM16時から18時半

水曜午後・土曜午後・日祝日休診



日本医師会認定産業医 日本内視鏡学会専門医

日本内科学会認定医・日本糖尿病協会療養指導医

